

基礎分野

[科学的思考の基盤]

科目名：生活と物理 単位数：1 時間数：30 1年前期

講師：医学物理士（竹田総合病院）

科目設定理由

医療の高度化に伴い使用する機器は増加する一方である。看護者はその機器を管理する役割を担う。看護の対象の安全および看護者自身の安全を守るため、その機器のしくみや原理を理解する。

人体のしくみは物理的に解釈できるものが多く、援助に活用するための知識を身につける。また、人間の動作を物理的に捉え、作業効率や安全を守るための基礎的知識を身につける。

学習目標

看護を実践するために必要な物理学を学習し、様々な現象を物理的に理解する手法を身につける。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	スカラーとベクトル	ベクトルの表し方 力のつりあい 力の合成 力の分解 ファウラー位 単位について ニュートンとダノン	講義	
2	トルクとてこ	身体にみられるてこの原理 トルクと体位変換 安定・不安定 重さ・重力・重心 安定・不安定の応 用	講義	
3	運動量	撃力 牽引 二重滑車機構 ラッセル牽引 反対牽引 力のつりあい	講義	
4	作用・反作用の法則	ニュートンの第三法則 看護における作用・反作用 脊柱起立筋にかかる力と働き 杖の効用	講義	
5	摩擦	摩擦力の種類と方向 最大静止摩擦力 摩擦係数 ナースシューズの摩擦 看護の摩擦 カ氏とセ氏 絶対温度 比熱	講義	
6	熱	比熱 融解熱 気化熱 水と蒸気の体積比（実験） 熱の移動 伝導 対流（実験） 放射	講義	
7	圧力1	圧力 kg/cm^2 mmHg cmH_2O 気圧	講義	

		マグデブルグの半球　　マグヌス効果 ベルヌーイの定理　　毛管現象・界面活性剤		
8	圧力 2	血圧　　観血法と非観血法 大動脈における動圧　　起立性低血圧 血圧測定に関する注意 低圧持続吸引装置	講義	
9	圧力 3	酸素ポンベのしくみ　　ボイルの法則 シャルルの法則　　ボイル・シャルルの法則 ポンベの種類と注意点 ボイル・シャルルの法則に関する練習問題	講義	
10	圧力 4	圧力の大きさによって生じる疾患 バイアル　　連結びんと圧力 薬液が注射針から出る速度 液体の落下速度 粘稠度・管の大きさと落下速度 密度・比重・水銀体温計	講義	
11	飽和状態と飽和蒸気圧・その他	蒸発と沸騰　　オートクレープの原理 酸性・アルカリ性について PH 値の求め方　　緩衝溶液と緩衝作用 溶液・溶質・溶媒 重量パーセント・容量パーセント	講義	
12	浸透圧・屈折	浸透圧　　求め方　　全透膜　　半透膜 レンズの種類　　レンズによる光の屈折 レンズによる結像　　レンズの公式	講義	
13	反射の法則	平面鏡での結像　　屈折の法則　　全反射 臨界角　　ファイバースコープ 遠近感（光角と視角）　　視力検査 光度と照度　　赤外線	講義	
14	電磁波・放射線	距離の逆 2 乗の法則　　半価層　　半減期 放射性同位元素　　追跡子 放射線（能）の単位　　音波　　聴力 定常波　　音の強さと大きさ	講義	
15	ドップラー効果・他	身体/身体ケアに関する物理学の復習 検査・治療・処置に関する物理学の復習	講義	

評価方法　　筆記試験

科目名：情報科学 単位数：1 時間数：30 1年前期 講師：(会津大学上級准教授)

科目設定理由

IT化が進む現代において、PCを活用できる能力は必要である。PCの情報システムやネットワークの基本的概念を理解した上で、PCの基本的操作方法を身につける。また、インターネットを活用した情報収集の仕方、情報を整理するための基礎的な文書処理や数値処理の方法を理解する。

学習目標

1. 情報科学の基礎理論を理解し、コンピューターの基本的操作を理解する。
2. 統計的な見方、資料の分解解釈および統計のとり方について学ぶ。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	情報の性質	情報をとらえるセンスについて 情報科学室のパソコンの使い方	講義	
2	タイピング	タイピングの仕方と練習	講義	
3	Wordの基本1	日本語入力	講義	
4	Wordの基本2	Wordの機能を使う：文字の装飾、 レイアウト等	講義	
5	Wordの基本3	Wordの機能を使う：表と図形、 及び前回の続き	講義	
6	文書の整形	表と図形の動き	講義	
7	Excelの基本1	Excelの基本的な使い方（データ入 力、計算）	講義	
8	Excelの基本2	Excel：条件付き書式、グラフ、 フィルタ	講義	
9	統計とは？	調査票の作り方	講義	
10	データ入力と検証	調査票の改善	講義	
11	基本統計量	クロス集計	講義	
12	報告書の構成	レポートの準備	講義	
13	グラフ作成のポイント	ピボットグラフの使い方	講義	
14	レポート作成上のポイント	度数分布	講義	
15	全体のまとめ	レポート提出	講義	

評価方法 レポート 学習態度

テキスト：統計解析なんかこわくない 医学書院

科目名：文章表現 単位数：1 時間数：15 1年前期 講師：(元高校国語教諭)

科目設定理由

文章を書くという行為は、社会の中で不可欠なものである。医療に携わるものにとっても、文章によって他者に伝えることは多い。ここでは、基本的な文章の書き方を学習し、自分が伝えたいことを、文章にできる能力を身につける。

学習目標

1. 文章の書き方の基礎的知識を理解し、自己の考えを表現する力を身につける。

学習計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	文章表現について	・自己紹介と授業について ・自己紹介文 [提出]	講義	
2	模範文	・さまざまな模範文を読む	講義	
3	文章について1	・文章を書く手順 ・文章の構成	講義	
4	文章について2	・さまざまな文章 ・意見文を書く [提出]	講義	
5	論文について1	・論文の基本8箇条 ・小論文を読む	講義	
6	論文について2	・小論文を書く [提出]	講義	
7	通信文について	・通信文の基本形 ・通信文を書く [提出]	講義	
8	まとめ	まとめ・振り返り	講義	

評価方法 筆記試験、レポート、学習態度

〔 人間と生活、社会の理解 〕

科目名：生命と倫理 単位数：1 時間数：30 1年前期 講師：(副住職)

科目設定理由

現代社会において、人々の価値観は多様化し、相手の価値観を尊重し、認め合うことが看護職においても重要なこととなっている。価値観を構成する基盤は多々あるが、当人が「生きること」「死ぬこと」をどうとらえているか、いわゆる死生観も大事な要素となっている。看護師という生命倫理に触れる環境で働く職業人として、この日常考える機会が少ないテーマについて考察する科目とする。

学習目標

宗教者（僧侶）の立場から、主に三大宗教の開祖の生涯を解説します。普段宗教の世界は敬遠され、なじみがないと思いますが、将来看護に携わる者として、一度「宗教」というフィルターを通して「愛」「信仰」「生と死」について考えてみる授業といたします。

授業はスライドを中心に、時折映像を交えながら進めます。

加えて、「生」を見つめる機会として、講義ごとに禅語を紹介していきます。

学習計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	オリエンテーション	宗教と私たち、世界の三大宗教	講義	
2	キリスト教と「愛」	旧約聖書の世界 (アダムとイヴ、選民思想など) イエスの生涯 (無差別の愛、十字架刑の意義など)	講義	
3				
4				
5				
6				
7	イスラム教と「信仰」	ムハンマドの生涯 (偶像崇拜、聖戦の定義など) キリスト教とイスラム教 (宗祖アブラハム、現代の諸問題)	講義	
8				
9				
10				
11	仏教と「生きること」	ブッダの生涯 (四門出遊、苦行の意味など) 日本仏教のあゆみ (聖徳太子、鎌倉仏教、神道と仏教など)	講義	
12				
13				
14				
15	まとめ	これまでの講義を踏まえての考察	講義	

評価方法 レポート

科目名：人間と教育 単位数：1 時間数：30 2年前期 講師：(福島大学特任教授)

科目設定理由

看護は、さまざまなケアを必要としている人が対象である。人がよりよく生きること
をいかに導くか、という教育学を学ぶことを通して、看護の対象である人への理解と成
長を考えるための基礎を培う。

授業目的と内容

なぜ、教育が必要なのか、教育の本質をどう考えたらいいのかなど教育の意義を考察
し、人間の成長における教育の必要性を理解する。内容は、他の生物との比較や先人の
教育実践、教育の歴史や制度、教育をめぐる問題など、できるだけ具体的な事例を取り
上げていく。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	オリエンテーション	講義の内容、予定、評価など、授業に関する説明を聞く。	講義	
2	教育の必要性と課題	①教育の必要性について他の動物の生誕時や成長を比較し、保護・養育という観点を理解する。 ②山積する教育課題を知る。	講義	
3	教育の歴史と学校教育制度	①西洋や日本における教育の歴史を概観する。 ②日本の学校教育制度の始まりと変遷。 ③今日の学校教育制度について知る。	講義	
4			講義	
5			講義	
6	学校教育をめぐる問題	①いじめ、不登校、非行、学力の未定着等の問題を考える。 ②児童虐待、学校間・保護者・関係機関等の連携についての問題を知る。 ③特別なニーズを持つ子どもに向き合う学校教育について知る。	講義	
7			講義	
8			講義	
9	学ぶことと教えること	①3要素(学ぶ者、教える者、教材)を理解し、学びを構成することを理解する。 ②学習指導要領があることを知り、教育計画を立て授業がなされていることを知る。 ③学校における教育目標具現のための教育活動を理解する。	講義	
10			講義	
11			講義	
12	社会教育、生涯教育の現状と意義	①幼児・青少年・成人教育の現状とその重要性を知る。	講義	
13	ケアと教育	①ケアの考え方を理解する。 ②教育の場としての学校と健康について理解する。	講義	
14			講義	
15	まとめ	①これまでの授業内容をまとめ、理解を確認する。	講義	

評価方法 レポートなど、総合的に評価する。

科目名：心理学 単位数：1 時間数：30 1年前期 講師：臨床心理士（竹田総合病院）

科目設定理由

看護の対象である人間を心理的側面から理解する。すなわち、一般的に心理学的な考え方を身につけ、人の行動やところについて理解を深める。また、自分自身の行動やところについて理解を深めることで他者理解や他者との関係性を客観的に分析できる基礎的知識を身につける。

学習目標

人間の心理や行動の基礎にある原理を学び、心理的存在としての人間を理解する。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	感覚の心理学	私たちは何を見ているのだろうか 心理学を学ぶ目的、物理的・生理的・心理的、脳のフィルター、聞こえなかった音、何歳の女の絵か、一個の電球の価値、フィルターが壊れると…、錯覚の不思議、フィルターの正体	講義	
2	知覚の心理学	私たちの見え方は同じだろうか サブリミナルの世界、虹は何色か、感覚がなくなると…、どんな男が好ましく見えるか、錯覚と幻覚、幽霊を見る心理、心を映す鏡、谷内六郎の絵の世界	講義	
3	記憶の心理学	憶えることと、思い出すこと、忘れること 昔の自分と今の自分は同じなのか、記憶の仕組み、一度に憶えられる量、記憶の変化、憶えるコツ、忘れるとは、痴呆症、チンパンジーの記憶力、あなたは正しい証言ができるか	講義	
4	学習の心理学	先天的か後天的か 言葉はどうやって身につくか、変な性癖の意味、体罰は良いか悪いか、恐怖症のしくみ、ギャンブラーの心理、男らしさ／女らしさの起源、嫉妬心の起源、飛行機が怖い理由	講義	
5	臨床の心理学	カウンセリングをやってみよう カウンセリングの元祖は何をやったか、カウンセリングマインドを身につけよう、カウンセリングの聞き方、カウンセラーの答え方、さまざまなカウンセリング	講義	
6	性格の心理学	自分と向かい合おう 性格のしくみ、変わる性格と変わらない性格、性格は測定できるか、エゴグラムをやってみよう、性格テストを3倍つかいこなそう、性格テストを作ってみよう	講義	

7	知能の心理学	頭がいいってどういうこと？ 知能とは何か、知能は測定できるか、知能テストの移り変わり、知能は遺伝か環境か、知能を測る意義、あなたの思考は柔軟か、言葉と思考の関係	講義	
8	適応の心理学	子どもから大人へ 子供が大人になる過程、母性原理と父性原理、カウンセラーの苦悩、サルとイヌから学ぶひきこもり、親と同じ人生を歩む仕組み、好きなタイプが決まる仕組み、生きるための智慧	講義	
9	医療の心理学	患者と家庭と医療者の心理 医者にかかる人の心理、どんな対応が望ましいか、家族の苦痛、気づかないうちに治るのを邪魔していないか、都会と田舎のストレス、ストレスが病気を作る仕組み	講義	
10	社会病理の心理学	社会の問題に心理学のメスを入れよう なぜグループを作るか、なぜいじめるか、差別と平等、環境問題とジコチュー、キレル子どもの背景にあるもの、子どもがかわいいと思えない親	講義	
11	心理劇場	細やかな心の動きを見つめよう とっておきの名画を鑑賞します	講義	
12	自我の心理学	自分さがしの旅に出よう 記憶と私、自我が強いとは、ジョハリの窓で自分と向きあおう、気づかない自分に出会おう、ロールシャッハテスト、クラスの中の自分の位置づけ	講義	
13	感情の心理学	偏見や嫉妬心はなぜあるのか 感情を分類しよう、やっかいな感情の正体、意図的につくる感情、快と不快と上手に付き合う	講義	
14	集団の心理学	大勢の中で牽制しあう私たち 流行を追う心理、同調行動、集団で仕事をするときの落とし穴、閉所に詰め込まれるストレス	講義	
15	心理学と情報科学	心理学を思索から科学に変えた技術 クラスでつくった性格テストの結果発表、差や傾向はあるとあってよいか、レポートの課題発表	講義	

評価方法

筆記試験

レポート

科目名： 社会学 単位数：1 時間数：30 1年前期 講師：(会津大学名誉教授)

科目設定理由

人間は環境の中で生きており環境から様々な影響を受けている。看護サービスを提供するため、看護の対象である人間を社会的側面から理解する。個人と社会との関連性や個人の価値観を理解する基盤を身につける。

学習目標

社会の構造、機能、文化を学び、社会的存在としての人間を理解する。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	社会を知る	社会科学を考える	講義	
2	社会学とは何か	独自の対象、看護との関係	講義	
3	家族 (1)	先端医療技術の光と影 生殖技術と家族の行方	講義	
4	家族 (2)	結婚制度と家族関係	講義	
5	家族 (3)	家族の絆を考える	講義	
6	地域社会 (1)	介護保険と地域 家族から地域へ	講義	
7	地域社会 (2)	環境問題を考える 大量廃棄社会から循環型社会へ	講義	
8	地域社会 (3)	究極の廃棄物 自治体からのとりくみ、世界に向けて	講義	
9	職場 (1)	働くことの意義 札幌麻生の取り組みから	講義	
10	職場 (2)	現状と課題 働く貧困層について	講義	
11	職場 (3)	危機をのりこえる 春山満さんの世界	講義	
12	現代社会 (1)	現代と人格 「多重人格症」と社会	講義	
13	現代社会 (2)	マイノリティの社会学 性同一性障害を考える	講義	
14	現代社会 (3)	社会的ひきこもりを考える	講義	
15	リスクマネジメント	リスクマネジメントと事故をめぐって	講義	

評価方法 筆記試験、レポート

テキスト : 社会学 医学書院

科目名：人間関係論 I 単位数：1 時間数：15 1年後期

講師：臨床心理士（竹田総合病院）

科目設定理由

人間は、人と人との関係の中で生活をいとなんでいる。またにんげんは、人と人とのそうごさようにおいて成長し合う存在である。しかし、対人関係が物事を進めるうえでの障害となったり、大きな悩みに発展したりすることもある。そこで、この人間関係論 I は、人間関係を形成する基本となるコミュニケーションの意義やコミュニケーションの基本的知識を理解し、円滑な人間関係を形成するうえでの基礎的能力を養う科目とする。

学習目標

1. 人と人との関係を理解し、人間関係形成に必要な基礎的知識・技術を理解する。
2. 体験を通して自己と他者のあり様に気づき、他者を理解する態度を養う。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	コミュニケーション①	オリエンテーション、自己紹介、グループワーク	講義	
2	コミュニケーション②	様々なかたちで発信されるメッセージ	講義	
3	自我状態とエゴグラム	パーソナリティとコミュニケーションのパターン	講義	
4	自我状態を体験しよう	実際に自我状態を使ってみると、どうなる？	講義	
5	ストローク①	人間関係の基本となるかかわり	講義	
6	ストローク②	人間関係のなかの様々な法則	講義	
7	心理ゲーム	何度も同じ嫌なやりとりを繰り返すのはなぜだろう？	講義	
8	交流分析の基本的考え	交流分析を使って目指す健康な健康な人間関係とは？	講義	

評価方法 筆記試験 100%

科目設定理由

看護は、いずれかのライフサイクルにある人、およびあらゆる健康レベルにある個人または集団を対象とする。また看護は、看護の対象とする人々の意思を尊重し、その人らしい生活を営めるように支援する必要がある。さらに看護の目的を達成する過程においては、多職種と連携・協働して看護の対象とする人々のニーズに対応する必要がある。したがってこの科目では、人間関係論Ⅰの理解に積み上げ、看護の場面に求められる人間関係形成のあり方を理解し、看護の実践に活用できる能力を養う科目とする。

学習目標

これから必要となる思考や行動と題して、人間関係形成に必要な基礎的知識・技術を学び、体験学習を通して自己や他者との関係のありように気づき、他者を理解する態度を養う。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	時間	講師
1	これから必要となる思考と行動	論理的思考能力 情報の理解力	講義 演習	7	
2		発信力（プレゼンテーション能力） 演習	2回目 50分		
3		問題解決能力 集団の心理と環境からの影響 心理臨床の現場から。患者の心	演習		
4		自己コントロール 共感性	演習		
5 6	オリエンテーション 人間関係の基礎	様々な方と人間関係を築くために必要な「信頼」を得るためにできることを知る	講義 演習	5	
7	人間関係とコミュニケーション	自身のコミュニケーション傾向を知り、コミュニケーション力を強化する	演習		
8 9	看護現場でのコミュニケーション	現場で必要なコミュニケーションの基礎を知る ・伝える力…「報連相」 ・聴く力…クレーム対応の心構え	演習		

評価方法

筆記試験、レポート、学習態度により総合的に判断する
筆記試験 80%、授業への積極的な参画 20%

科目名：生活論 単位数：1 時間数：30 1年前期 講師：(元郡山女子大学助教授)

科目設定理由

「健康」に生きるためには、人間を取り巻く環境を整えることが重要となる。中でも身近な日常生活について、健康との関連でそのあり方を考えていくことは大切である。ここでは主に衣食住を中心に自然環境、社会環境との関連から理解する。それによって、看護の対象に生活支援するための基礎的知識を身につける。

また、学生が社会人として生活するために必要な常識を身につける。

学習目標

健康な生活を送るために必要な生活行動や生活環境を科学的に理解する。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	オリエンテーション	授業の進め方 生活論の位置づけ 教育理念、目標と生活論の関係 辞書を引く (辞書の個性について異なる出版社の辞書の内容を比較し、個性があることを理解する) 評価の仕方 担当者の自己紹介	演習	
2	社会との関わり	受講者の自己紹介 自己紹介のポイント すごろくトーク (ねらいとすごろくトーク) ニュースの重要性 コミュニケーションの重要性について	講義	
3	生活とは何か	漢字の成り立ちから考える Live から 考え、家庭を中心に、家、地域、国、世界 に住むことについて理解する	講義	
4	住むとは何か 住む哲学について	生活の概念における「住むこと」の重要性 をサン＝テグジュペリ、バシュラール、メルロ＝ポンティオ・Fボルノーらの思想から「住むことの哲学」について理解する	講義	
5	文学作品をから家庭生活を考える (1)	明治時代の代表作、森 鷗外の『半日』 大正時代の代表作、夏目漱石の『道草』を読む	講義	
6	文学作品から家庭生活を考える (2)	『半日』『道草』の 2 作品から家庭生活について考える	講義	
7	家庭とは何か	著者の家庭生活から、家庭とは、親とは、 また家庭と仕事の両立について考える	講義	
8	現代社会の特徴について (1)	現代社会は、どんな社会か。その特徴について学ぶ	講義	
9	現代社会の特徴について (2)	現代社会の特徴をデータで説明発表。発表の仕方、データの使い方、論文の書き方について学ぶ	講義	
10	衣生活 (1)	衣服と皮膚の意味 衣服の役割と機能 衣服の性格 TPOについて学ぶ	講義	

11	衣生活（2）	洗剤の歴史 洗剤の種類と成分 衣服の洗濯 汚れの種類 汚れはなぜ落ちるか 界面活性剤の実験	講義	
12	食生活	内閣府のデータから、現代の家庭の食生活の現状を知る 6つの「こ食」について考える 食生活で大切なことを学ぶ	講義	
13	花育について（1）	花育とは何か 私たちの生活に花のある暮らしを提案する	講義	
14	花育について（2）	生活に花を添える 演習を通して花に親しむ	演習	
15	マナーについて（1）	挨拶の仕方 ハガキの書き方 袱紗の種類 冠婚葬祭時ののし袋の使い方等、日常生活のマナーについて学ぶ	講義	
16	マナーについて（2）	往復葉書で同級会のお知らせを下記、返信を出そう ハガキを書こう 身近でお世話になっている方に、近況報告と感謝の気持ちを書こう	演習	50分

評価方法 レポート

科目名：英語 I 単位数：1 時間数：30 1 年前期 講師：(英語塾講師)

科目設定理由

国際化社会に伴い、英会話能力が求められている。入学前までの学生の学習状況には格差がある。そこで、英語に慣れ親しみながら、既習の知識の確認と基礎的英語力を養うための科目とする。

学習目標

英語に慣れ親しみ、基礎的英語力を身につける。

授業計画

1 年生はこのテキストのユニット 1 から 4 までを学習していきます。

テキスト以外にも、お互いの自己紹介や、クラス内でよく使用する英語フレーズの練習などの日常英会話パートも幅広く学習していきます。

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1		レッスンの進め方、テキストについて レッスンでよく使うフレーズ	講義	
2	自己紹介	自己紹介に関する現在形や be 動詞の現在 形の使い方	講義	
3	時間の伝え方	病院のスケジュールと開始時間について の質問と返答	講義	
4	患者さんとその家族	患者さんへのご挨拶と病院内の規則の説明	講義	
5	検査をする上での患者 さんへの付き添い	車椅子や X 線検査の機械などの医療用の 機械・備品の説明	講義	
6	問診表	問診表を書くための個人情報に関する質問と理 解	講義	
7	症状	症状に関する語彙、風邪やだるさなど	講義	
8	採血	ニードル・シリンジなどの医療用機器・ 備品	講義	
9	患者さんの状態の確認	体温計などの単語	講義	
10	患者棟の説明	病室関係の単語	講義	
11	入院時に関する説明	入院に関する単語	講義	
12	病院食の説明	病院食をメニューから選ぶ、食品名の単 語	講義	
13	患者さんが食事メニ ューを選ぶのを助ける	食事制限や分量に関する説明、食事に関 する動詞	講義	
14	患者さんの食事時の介 護	きちんとした栄養素が取れるように患者 さんにアドバイスする	講義	
15		まとめ	講義	

評価方法 コース終了テスト リスニング&ライティング スピーキング能力を含む授業
態度

テキスト：English for Nursing 1 ピアソンエデュケーション出版社

科目名：英語Ⅱ 単位数：1 時間数：30 2年後期 講師：(英語塾講師)

科目設定理由

臨床の現場においては、学術用語を理解し、医療チーム間で情報を共有することが求められる。

また、国際化社会に伴い、看護場面での英会話能力を求められることも必至である。そこで、医療情報の理解に必要な基礎的看護英語を習得し、簡単な会話ができるための科目とする。

学習目標

医療従事者として必要な語学力を養う。

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	1年次のまとめ・復習①	レッスンの進め方	講義	
2	1年次のまとめ・復習②	実習時に使うフレーズや単語の復習	講義	
3	術後の体のケア①	体の部位に関する単語	講義	
4	術後の体のケア②	体を動かす動作に対する動詞	講義	
5	体の可動域	体を動かす際の強さ、弱さなどを表す形容詞、副詞	講義	
6	薬の飲み方①	薬の種類、服用の仕方の説明	講義	
7	薬の飲み方②	頻度表す単語	講義	
8	副作用の説明	助動詞 may や might などを使った表現	講義	
9	患者さんへの説明、指示	処置に関する説明の仕方、病院内でのルールの説明	講義	
10	電話対応、コミュニケーション	電話でよく使うフレーズ、伝言メッセージ	講義	
11	備品の管理	病院の備品に関する単語	講義	
12	術後のケア	術後の体の状態の確認の仕方	講義	
13	お年寄りの患者さんへの対応、ケア①	ケアホームの設備、備品などの単語	講義	
14	お年寄りの患者さんへの対応、ケア②	お年寄りの患者さんへのアドバイス、提案の仕方	講義	
15		まとめ		

評価方法 コース終了テスト リスニング&ライティング スピーキング能力を含む授業態度

テキスト：English for Nursing 1 ピアソンエデュケーション出版社

科目名：保健体育 単位数：1 時間数：30 1年前期 講師：(元中学校体育講師)

科目設定理由

新しい環境の中で学校生活を送る学生にとって、身体活動は心身の維持に欠かせないものである。身体活動を通して自分自身の健康の維持・増進を図るとともに、身体活動と健康の関係について理解を深める。

学習目標

健康を保持増進するために必要な保健・体育の意義と知識を習得する。
スポーツの楽しさに触れ、親しむ

授業計画

回数	学習課題	学習内容	学習形態	備考
1	新しい環境に慣れる	<ul style="list-style-type: none"> 球技大会に向けて練習しながらクラスメイトとコミュニケーションをとる バレーボール、バスケットボール、バドミントン等 	演習	
2				
3	自分を表現する	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介（自己アピール） 今年1年の目標、看護師になる 	講義	
4				
5	食に対して意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> 体をつくるために、重要な食事についての関心を深めるために、実際の食事調査を行う 	講義	
6				
7	ダンスを通してチームワークについて学び体を動かす大切さを知る	<ul style="list-style-type: none"> HIPHOP - 多数決で動きたいジャンルに講師が決めた振り付けを覚える ジルバ - 二人で踊る代表的なステップを覚えながら、少人数でのコミュニケーションを高める グループワーク - 各グループに分かれ、それぞれ曲を決める。自分自身を表現しつつ、チームワークを高めながら楽しく体を動かす 	演習	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
		※ 各授業で看護師として必要な笑顔で他人と接すること		

評価方法 実技、学習態度により総合的に評価する。